

札幌 スポーツ協会だより

一般社団法人
札幌市障がい者スポーツ協会
発行人 浅香博文
札幌市西区二十四軒2条6丁目
電話 011-612-1184
FAX 011-641-8966

第18回札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック2018開催)

【大会期間】5月13日～6月3日(5月20日を除く各日曜日、卓球と水泳は27日同日開催。)

【実施競技】7競技(アーチェリー、卓球、水泳、陸上、フライグディスク、ボウリング、バスケットボール)

【参加者数】1,489人(選手970人、役員519人)

【開会式】円山競技場で行われた総合開会式では、主催者である札幌市の岸光右副市長からの激励の挨拶の後、江良元晴選手と志子田梨佳選手の選手宣誓があり競技が開始されました。今年度のエントリー数は、昨年度より約100人少ない970人に止まりました。



第 18 回全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会

全国大会出場へ

◇知的バスケットボール◇

5 月 26 日(土)・27 日(日)

CAN アリーナ☆あきた

男子チームは、1 回戦宮城県、2 回戦岩手県に勝ち、決勝は秋田県に 57 対 53 で雪辱を果たし、11 年振りの全国大会出場を決めました。



◇知的サッカー◇

6 月 23 日(土)・24 日(日)

仙台市泉総合運動場

選手たちは、準決勝で福島県と 8-0、決勝で岩手県と 9-0 と圧倒的な勝利をおさめ、支えてくれた方々への感謝の思いを胸に、全国障害者スポーツ大会に臨みます。



◇聴覚バレー ボール◇

6 月 24 日(日)

福島県二本松市城山第二体育館
均衡した大会になりましたが、3 セット目は前夜のミーティングを活かし、25 対 11 の大差で青森県を破り優勝しました。



◇その他の競技の結果◇

障害	競技	日 程	会 場	結 果
知的	ソフトボール	5 月 20 日(日)	青森市屋内グラウンド	準決勝で青森県にサヨナラ勝利。決勝で宮城県に敗退。
精神	バレー ボール	5 月 26 日(土)	山形県総合運動公園体育館	準々決勝で、優勝した青森県に 2 対 0 で敗退。

第 18 回全国障害者スポーツ大会(福井しあわせ元気大会)出場者決定

【派遣期間】10 月 11 日(木)～16 日(火) 【選手団】99 名(選手 64 名、役員 35 名)



【個人競技 30 名】

陸 上	
身体	的場典子
身体	齋藤綾子
水 泳	
身体	山田愛実
身体	永井剛司
知的	木本啄望
知的	遠藤佑真
アーチェリー	
知的	佐藤明日美
知的	木下 舞
知的	中田英貴
知的	岸川広輝
知的	村田稔実
知的	渡邊勇心
身 泳	
身体	土谷一馬
身体	木村恵生
卓 球	
知的	真野光恵
知的	横山航也
知的	石川佳穂
知的	山岸保輝
アーチェリー	
身	熊谷義夫
卓 球	
知的	福島航太
知的	湯淺加偉
知的	稻川 心

身体	青木佑季
身体	石田菜摘
身体	澤瀬忠夫
身体	鳥羽晶幸
フライングディスク	
知的	吉田朋子
知的	西尾実香
ボウリング	
知的	佐藤 裕
知的	中田悠紀

【団体競技 34 名】

バスケット(知的)	バレー(聴覚)
高松雄司	門田優佑
金野 光	荒木力也
佐藤祐治	山形竜之介
山崎駿也	長谷和明
種村羽流	福島太郎
久保秀明	山形悠介
坂倉直登	サッカー(知的)
久保宙士	依田 航
山田虎我	國吉拓夢
相澤龍季	阿部智哉
宮本涼平	彦根一成
富樫勇臣	高橋正英
田中恵一郎	
澤田偲努	
清水 誠	
斎藤 誠	
長 璃久	
若野翔太	
立田智也	
山木開斗	
前田拓也	
工藤龍輝	
岡本昂平	

平成 30 年度定時総会

- 【日時】 5 月 16 日(水)午後 3 時～4 時
 【場所】 札幌市身体障害者福祉センター 3 階大会議室
 【議案】 ①平成 29 年度事業報告、②平成 29 年度収支決算、③札幌市への要望、④役員選任
 【審議】 提出議案について、原案通り承認決議されました。



◇役員の選任について◇

役員が所属する団体の異動に伴い、定時総会において、また、その後 6 月 22 日に実施した書面による総会決議及び、7 月 9 日に実施した書面による理事会決議によって、次のとおり役員が選任されました。

役職名	氏名	所属団体・役職	異動
理事	山田 春夫	札幌アーチェリー協会副会長	平成 30 年 5 月 16 日就任
副会長・理事	長江 瞳子	一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会会長	平成 30 年 7 月 9 日就任

第 18 回身体障がい者ボウリング大会

- 【日時】 7 月 8 日(日)
 【場所】 サッポロオリンピアボウル
 【概要】 9 月 9 日に横浜市で開催される政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会の予選会を兼ね、21 名が参加し熱戦を繰り広げました。



「札幌 JAPAN 市」開催

- 【日時】 2018 年 7 月 24 日(火)、25 日(水)11:00～19:00
 【目的】 東京 2020 開幕 2 年前ムーブメントの創出、2019 ラグビー W 杯認知、札幌冬季五輪招致機運の醸成、東北・九州復興支援
 【共催】 北海道、札幌市、札幌商工会議所、北海道経済連合会、経済界協議会
 【内容】 〈物産展〉 東北復興物産展、九州復興物産展、北海道物産展
 〈スポーツ体験会〉 スキージャンプ(VR)、ラグビー、ブラインドサッカー(VR)、車いすカーリング、視覚障害バイアスロン等
 【会場】 チカホ「札幌駅側イベントスペース」・「キタサン HIROBA 西」・「憩いの空間 E2～E6、W1～W4」、北洋銀行 1 階フロア、道新プラザ DO-BOX 等



平成 30 年度初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(告知)

- 【日時】 平成 30 年 11 月 17 日(土)、24 日(土)、12 月 1 日(土)
 【場所】 札幌市身体障害者福祉センター 3 階大会議室
 【定員】 概ね 30 名
 【カリキュラム】 講義及び実技で 18 時間
 【詳細】 「平成 30 年度初級障害者スポーツ指導員養成講習会開催要綱」(10 月上旬当協会 HP に掲載予定)



賛助会員ご加入ありがとうございました

◇個人 平成 30 年 3 月 1 日～3 月 31 日 (受付順)

(敬称略)

藤田 治

高坂 猛

西川 ひろみ

羽田 信武

佐藤 勤

◇法人・団体 平成 30 年 3 月 1 日～3 月 31 日 (受付順)

(敬称略)

札幌ゲートボール連合

医療法人知仁会 八木整形外科病院

(株)ムトウ

SAWA ウィンタースポーツアカデミー

大塚ウエルネスベンディング(株)

社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

平成 29 年度(4 月 1 日～3 月 31 日)

個人会員	185 件	457,000 円
法人・団体会員	88 件	580,000 円
合計	273 件	1,037,000 円

賛助会員の募集

平成 29 年度の賛助金の使途につきましては、大会開催・派遣の助成やスポーツ指導者養成等に活用させていただきました。皆様のご協力をお願いいたします。

◇個人 平成 30 年 4 月 1 日～6 月 30 日 (受付順)

(敬称略)

高田 康夫	出口 信真	飯田 道子	山本 文子	舟崎 隆	田島 元樹	山崎 高徳	三浦 淳
後藤 宗夫	扇谷 明美	中平 正幸	志藤 昭子	山本ミサ子	井上 敬常	奥木 貴史	満田つむる
野村 萌	浅香 博文	福島 太郎	松田 信幸	渡辺 淑子	石山 博史	安田 聰	保坂 正勝
織田 明春	橋本 順子	眞鍋のり子	松田 智子	小林 麻里	今野 健一	河原 麻子	保坂美根子
赤沼 雅子	高橋 道孝	古屋 京子	棟 智恵子	石川 英仁	金谷 泰亨	川岸 裕子	柴田 美樹
高橋千鶴子	渡邊 正良	小黒トシ子	吉羽 隆	多田 幸子	砂村 直広	楳 澄子	辻 和宏
高橋 幸夫	五十嵐衿子	岡崎 勇二	伊勢由記子	原 雄哉	佐藤 美賀	後藤 久雄	馬場 順子
盛岡 伸	石塚 義成	前田由紀恵	柴野 ヨネ	折館 徳勝	佐藤 学	鈴木 輝子	佐々木達次
仁部 一夫	松田 敦	前田有佳子	滝田 広子	滝谷 直	茂木 秀則	藤井 和雄	
山口 陽子	荒木 豊	沼澤 一夫	野島 聰	渡辺 幾子	中村 圭児	鹿熊世紀子	
坂野 政也	山崎佳奈子	沖村 圭子	佐々木浩一郎	武田 晴至	薮下 秀二	相良 幸男	

◇法人・団体 平成 30 年 4 月 1 日～6 月 30 日 (受付順)

(敬称略)

肢体ゲートボールクラブ	(株)日本旅行北海道 札幌支店	公益社団法人 北海道理学療法士会
(株)ロックウェル	札幌ろうあ者パークゴルフクラブ	一般社団法人 札幌市医師会
(株)ワールド	札幌ろうあ者フロアカーリングクラブ	医療法人社団 いとう整形外科病院
水泳教室 ラブリー	一般社団法人 札幌歯科医師会	(株)さんけい
(株)ティネステーションホテル	中失協ゲートボールクラブ	札幌ろうあボウリングクラブ
札幌地区バドミントン協会	医療法人社団元氣会 札幌整形外科	あいおいニッセイ同和損害保険(株)札幌支店
かつばの会	(株)ノアコンシェル	札視協 サウンドテーブルテニス
特定非営利活動法人 障害者自立支援団体 麦の会		



ススメの伝言板

◇サッカーW杯雑感一「壁を越える」◇

前回 2014 年 W 杯ブラジル大会で惨敗した日本チームは、監督交代や勝てない時期があって追い込まれ、チームが一つになって、下馬評を覆す活躍を見せました。

一次リーグでは、初戦で強豪コロンビアに勝利し、セネガル戦で 2 度追いついて引き分け、決勝トでは、ベルギーに劇的な逆転負けを喫したものの後半に 2 得点を挙げました。

過去の決勝トーナメントで無得点だったニッポンは、成長しひとつ壁を越えたのでしょうか。躍進の原因として、運動量や、技術、俊敏性、連携プレー等のニッポンの強みを活かした戦い方が挙げられます。が、英國ガーディアン紙は、「選手は、どう戦えばいいかその方法を見つける気迫と自信にあふれていた」と評価し、本田選手は、「W 杯は、60% の力でも勝ち切ったり引き分けたりしなければならない、刻々と変わる状況に冷静に対応する大切さ」を述べています。

日本代表の躍動の背景には、日本のスポーツ界とは異なる発想に立つ、海外の厳しいところに身を置いている選手の意識改革があったのではないでしょうか。